

# 日立病院だより

2024年  
10  
No.155

(株)日立製作所 日立総合病院 ホームページ →



日立病院だより →



2024年10月1日発行  
発行人/天川 務

## 「内視鏡手術支援ロボット ダヴィンチ」手術1,500症例達成について



導入初期のロボット手術



現在のロボット手術

2011年11月に北関東で初となるロボット手術支援システム「ダヴィンチ」を導入し、前立腺手術を中心に症例を重ねてきました。近年では、腎臓・子宮・肺・大腸・膀胱・胃へと導入領域を広げ、2024年6月でダヴィンチによるロボット手術の累積症例数が1,500例に達しました。

ダヴィンチによるロボット手術支援は、身体の負担が少なく、社会復帰も早いなど、患者さんのメリットが大きいのが特徴です。この最新の医療技術を多くの手術で保険適用として地域に届けることができるよう、今後も更なる保険診療の適用拡大をめざしてまいります。

導入時をはじめ、2018年7月の「ダヴィンチXi」への更新についても、日立市からのご支援をいただきながら症例実績を積み上げ、安全に運用してまいりました。これからも日立市のみならず茨城県のロボット手術を牽引するべく、スタッフ一同、日々研さんを重ねてまいります。

※ロボット手術支援システム「ダヴィンチ」の詳細につきましては、当院ホームページ「診療案内」-「ロボット手術センター」をご参照ください。



### 【当院におけるロボット支援手術の導入実績】

診療科	対象手術
泌尿器科	前立腺全摘術
	腎部分切除術
	腎盂尿管形成術
	膀胱全摘術
	腎悪性腫瘍手術(全摘)
産婦人科	腎尿管全摘術
	腎尿管膀胱全摘術
	子宮悪性腫瘍手術(子宮体がん)
外科	子宮良性腫瘍手術
	仙骨腫固定術
	直腸切除術
	胃切除術
	結腸切除術
	胃全摘術
呼吸器外科	回盲部切除術
	直腸切除+胃切除術
	肺悪性腫瘍手術
	縦隔腫瘍摘除術

## 令和6年10月からの医薬品の自己負担のお知らせ

- 後発医薬品(ジェネリック医薬品)があるお薬で、**先発医薬品の処方を希望される場合は、特別の料金をお支払いいただきます。**
- この機会に、**後発医薬品の積極的な利用**をお願いいたします。

- ・後発医薬品は、先発医薬品と有効成分が同じで、同じように使っていただけるお薬です。
- ・先発医薬品と後発医薬品の薬価の差額の4分の1相当を、特別の料金として、医療保険の患者負担と合わせてお支払いいただきます。
- ・先発医薬品を処方・調剤する医療上の必要があると認められる場合等は、特別の料金は要りません。

特別の料金の対象となる  
医薬品の一覧などは  
こちらへ





院長  
山形 文子 先生

## 【やまがた内科医院】

日立市川尻町で内科医院を開業して19年目を迎えました。これまで日立総合病院や多くの専門医療機関と連携して診療を続けてくることができました。当院の診療のモットーは早期発見、早期治療です。

病気があっても「病人」にならないように「健康づくり」や「健康を守る」大切さを伝えていきます。また、病気が悪化してもよりよい状態で暮らせるように、患者さんと相談しながら治療を行うよう心がけています。今後ともよろしくお願いたします。

<所在地> 319-1411  
日立市川尻町1-35-7  
<電話番号> 0294-44-8700  
<診療科目> 内科  
<診療時間>



	月	火	水	木	金	土
8:50~11:30	○	○	—	○	○	○
14:30~17:30	○	※	—	○	○	—

※予約診療のため、一般診療は16:00~とさせていただきます。

<休診日> 水曜日、土曜日午後・日曜日、祝日



## 各科紹介

## 眼科

### ・主とする対応疾患

白内障、緑内障、網膜・硝子体疾患（網膜剥離、糖尿病網膜症、網膜中心動脈・静脈閉塞症、黄斑円孔、加齢黄斑変性症など）、ぶどう膜炎、視神経炎、屈折異常、斜視・弱視、眼瞼・角膜・結膜疾患など眼科疾患全般

### ・科の特徴

当科では白内障手術を患者さんの全身あるいは眼の状態、およびご希望により日帰り手術と入院手術（1泊2日）の両方で行っています。また網膜・硝子体疾患に対する硝子体手術や緑内障手術も行っています。2023年の手術室使用総手術件数は612件でした。今後はさらに地域医療機関との病診連携を強化していきたいと考えています。

### ・医師紹介



## 誰でもわかる がん講座 124

## ・タバコとがん

タバコは肺がんの最大の原因ですが、他のがんへの影響はどうでしょうか。タバコには5,000種類以上の化学物質が含まれ、そのうちの70種類が「発がん性物質」であると分かっています。それらが全身の細胞に吸収されて蓄積し、口腔（こうくう）がん、咽頭（いんとう）がん、喉頭（こうとう）がん、鼻腔（びくう）・副鼻腔がん、食道がん、胃がん、肝臓がん、膵臓（すいぞう）がん、膀胱（ぼうこう）がん、子宮頸部（しきゅうけいぶ）がんなど、さまざまな「がん」をおこしやすくさせます。こわいことに、タバコを吸っている人は、尿や髪の毛からも発がん性物質が検出されます。例えば、発がん性物質が膀胱に蓄積して、膀胱がんをおこしやすくさせます。

タバコは、がんのほかにも、心筋梗塞（しんきんこうそく）や狭心症（きょうしんしょう）など心臓の血管がつまる病気、脳卒中（脳梗塞、脳出血など）、糖尿病、歯周病、など多くの病気をおこしやすくさせます。

ただし、禁煙した後は、さまざまな「がん」、脳梗塞、心筋梗塞、狭心症、など多くの病気のおこる確率が下がっていきます。健康な生活をめざすのなら、タバコを吸っている人は、すぐにやめる必要がありますね。

呼吸器内科 主任医長 山本 祐介

## 患者図書室からのお知らせ

病気や治療、栄養に関する図書や雑誌、絵本や視聴覚資料もございます。インターネットでの検索も無料です。どなたにも自由にご利用いただけますのでお気軽にお立ち寄りください。

### 新着図書

- ・日本食品大事典 = Encyclopedia Of Foods
- ・エネルギー早わかり：いつも食べる量のエネルギーがひと目でわかる
- ・統合失調症は治りますか?：当事者、家族、支援者の疑問に答える
- ・かゆみをなくすための正しい知識：肌トラブルを解消する
- ・遺伝性乳がん卵巣がんを知ろう!：みんなのためのガイドブック. 2022年版

その他、多数入荷していますのでご覧ください。

また、千草押し花会の皆様のご協力を得て新しくなった「押し花絵展」にもお立ち寄りください。

利用時間：月～金曜日 9:00～14:30 (休診日はのぞく)

※10/22より火曜日だけ午前のみ

場 所：本館棟2階(採血待合室付近)

花材：ボタン、葉

説明：金の流れが美しい模様入りの和紙を背景にしました。和紙に負けない花は、ボタンしかないと思い庭で育てた今年のボタンを使いました。花びらを1枚ずつ押して、微妙に違う色合いを組み合わせ立体的に見えるように組み立てました。花びらが薄いので、色が抜けないように重しは軽くして、生の花の色が出るよう押し方にも気を遣いました。

今回の作品は、きれいに押し上がったボタンが背景ともピッタリ合い、華やかな雰囲気が出てとても満足しています。



雅な流れ

## 医療サポートセンターからのお知らせ

地域医療連携部門には、紹介患者さんの受入れを行う前方連携(主に地域の医療機関からの診療予約等)と、入院中の患者さんの支援を行う後方連携(退院調整・各種制度利用相談など)があります。

後方連携(当院では「社会福祉相談室」)では、患者さんが治療を終えられた後、安心してご自宅や地域へお戻りになっていただけるよう退院支援を行っています。

具体的には、療養継続先のご紹介、在宅医療や訪問看護、介護保険サービスなどの各種利用に向けた調整やお手伝いをさせていただいております。

また、退院後も治療やケアが切れ目なく提供されるよう、日頃よりかかりつけ医や訪問看護師、ケアマネジャーなど各種関係機関の方々との連携にも努めています。

## 赴任・離任医師の紹介

※本務のみ掲載しております

赴任	10/1	外科 海江田和泉	10/1	整形外科 石川 涼平	10/1	整形外科 上野 恵多	10/1	脳神経外科 金光 晴香
	10/1	小児科 上口 真	10/1	産婦人科 田坂 暢崇	10/1	産婦人科 中谷 千尋	10/1	皮膚科 岩田 匡祐
	10/1	救急集中治療科 濹澤安友未	10/1	臨床研修医 石川 高人	10/1	臨床研修医 大賀 浩銘	10/1	臨床研修医 土井 義信
	10/1	臨床研修医 松岡 知希						
離任	7/31	小児科 西田 美咲	8/31	消化器内科 越智 正憲	9/30	脳神経外科 刈田 弘樹	9/30	整形外科 三橋 雅崇
	9/30	産婦人科 水野 優花	9/30	産婦人科 渡邊 明恵	9/30	救急集中治療科 遠藤 理子	9/30	救急集中治療科 山下 雄斗
	9/30	救急集中治療科 李 礼真	9/30	臨床研修医 瀧川 薫	9/30	臨床研修医 芳賀遼太郎	9/30	臨床研修医 福田 康孝

## 入院患者さんのポリファーマシー対策への取り組み紹介

ポリファーマシーとは、多くの病気を抱えることにより複数の病院を受診し、飲んでいる薬全体が把握されにくいために生じる問題をさします。例えば、薬が多いことで同じ効果のある薬の重複や、飲み忘れ、飲み間違いが起こりやすくなります。そうすると、副作用が起こりやすく、期待する薬の効果が得られないことなどがあります。特に高齢者では、体の機能が低下しているため、薬が効きすぎてしまうことがあります。多すぎる薬は減らすことは大事ですが、薬を使わなくていいということではありません。処方された薬はきちんと使い、自己判断でやめないことが大切です。当院でも入院時に患者さんが普段使っている薬を薬剤師が確認し、薬が適切に使用されているか積極的に評価を行っています。薬が多くてお困りの方や薬に関して不安がある方は、かかりつけの薬剤師に相談してみてもいいでしょうか。

## インフルエンザ予防接種について インフルエンザ予防接種を下記の通り開始いたしました。65歳以上の方、基礎疾患をお持ちの方を優先させていただきます。

### 1. 接種対象者(予約制)

- 内科：接種を希望する方
- 小児科：年齢 生後6ヶ月以上 中学生まで  
接種を希望する方

### 2. 接種日

内科	毎週 火・金曜日の午後 (受付14:00~)
小児科	毎週 水・木曜日の午後 (受付13:00~13:30)

### 3. その他(内科のみ)

当院を定期的に受診される際に、ワクチン接種をご希望される場合には、まず担当医にご相談ください。その際、各市町村の助成ハガキなど接種に必要な書類がある場合は、必ずご持参くださいますようお願いいたします。

※小児科は受診の際のワクチン接種は行っておりませんので、ご予約をお取りください。

### 4. お問い合わせ及び予約先

内科外来、小児科外来 電話：0294-23-1111

## 日立市消防本部へのグローブ寄贈

9月2日(月)、日立市消防本部に対して救急用グローブを寄贈しました。

これは9月9日の『救急の日』にちなんで、日頃よりお世話になっている救急隊員への感謝の意を込めて、毎年行っているものです。同じ日立市内の「社会医療法人愛宣会ひたち医療センター」と合同で、日立市役所にて渡辺院長から小川春樹市長へ計20,000枚をお渡ししました。



## 休診日のご案内

### 2024年10月

日	月	火	水	木	金	土
*	*	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	*	*

### 11月

日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	*	*	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

### 12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	*	*	*	*

休診日は、上記の網かけ日となっております。